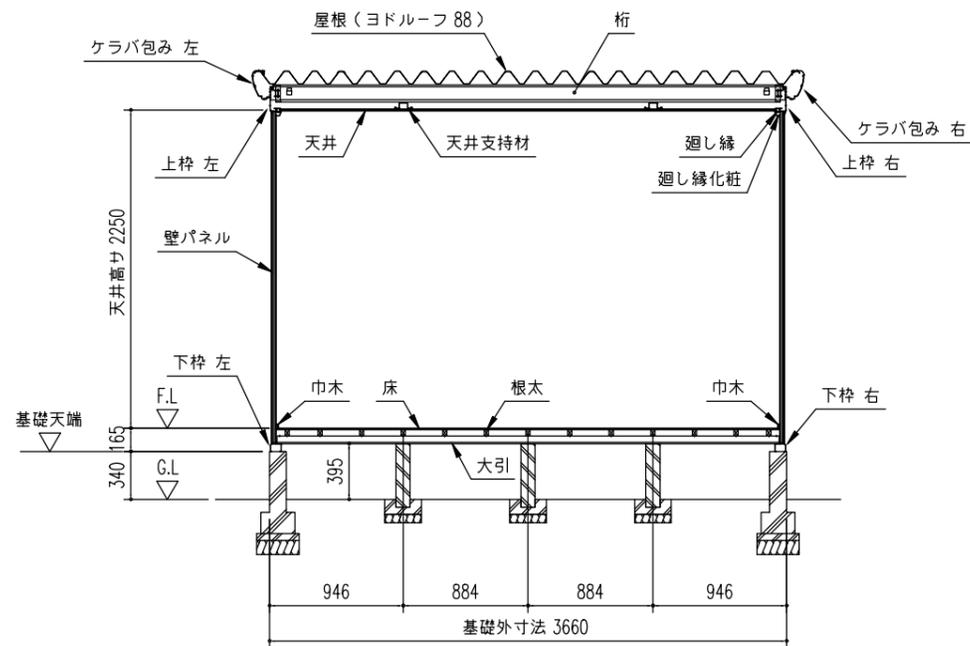
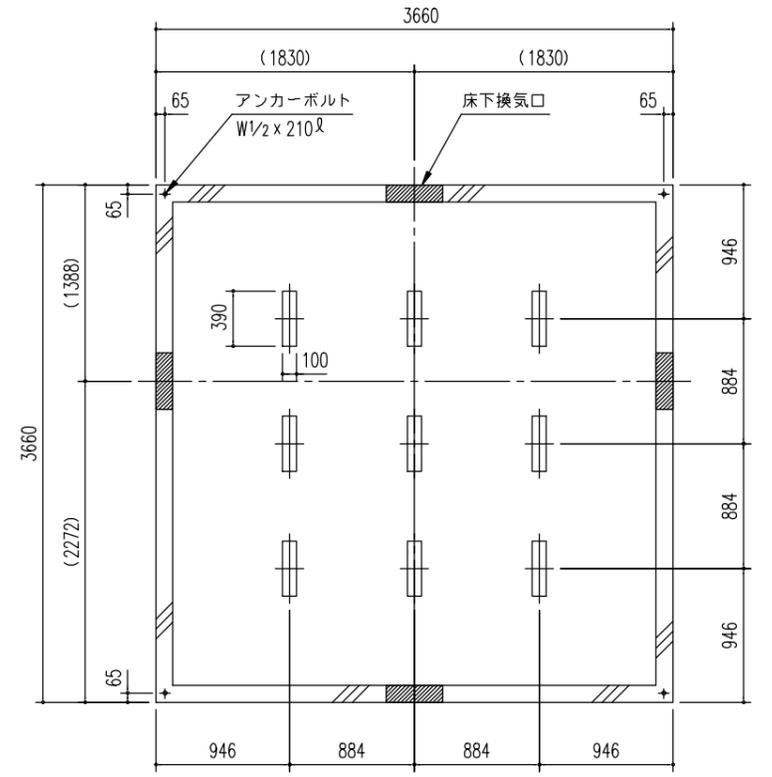


側面断面図 (S=1/50)



正面断面図 (S=1/50)



前

基礎図 (S=1/50)

構造耐力上主要な部分の部材

部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
隅柱	□ — 46.5 x 46.5	1.0+2.3mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC JIS G3312 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGCC	153
上枠前	┌ — 225 x 41	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—
上枠後	└ — 170 x 41	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—
上枠左右	┌ — 170 x 41	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—
桁	┌ — 115 x 52.5	2.3mm	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板 SGHC	—
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	—
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼 STKM	—
アンカープレート	—	4.5mm	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	—

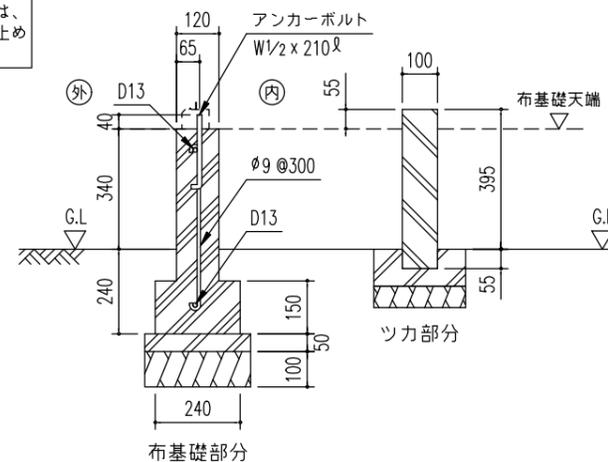
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
屋根	ヨドルーフ88 4mm発泡ポリエチレン貼り	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
下枠	77 x 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
大引	55 x 60	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
根太	43 x 30	—	南洋材 (アビトン)
床	—	12mm	化粧合板
壁	(内壁)	—	繊維板
	(芯材)	—	発泡ポリウレタンフォーム
	(外壁)	—	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
	(間柱)	┌ — 42.7 x 27	1.2mm
鼻隠し・トイ	—	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠しコーナー	—	—	< ASA樹脂 >
軒天	—	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
天井	—	16.5mm	プリント合板 ② 2.5mm 補強材 ② 14mm
壁トイ	60φ	—	塩ビ樹脂
(表面)	—	—	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
フラッシュド (芯材)	—	30mm	ペーパーハニカム
(裏面)	—	—	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
挿出し	—	—	アルミサッシ
小窓	—	—	アルミサッシ

< 参考 >

- ・基礎断面図 (S=1/20)  
(地耐力 50 kN/m<sup>2</sup> 以上, コンクリート設計基準強度 18 N/mm<sup>2</sup> 以上)  
(基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分 III)

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



- 注1) 地耐力が 50 kN/m<sup>2</sup> 未満 (30 kN/m<sup>2</sup> 以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、かつ補助筋を入れて下さい。
- 注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
- 注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

YHD-80 型 (8 畳)  
建築面積 12.92 m<sup>2</sup> (3.91 坪)

名称	ヨドハウス D タイプ
機種名	YHD-80 型 (8 畳)

株式会社 ヨドコウ